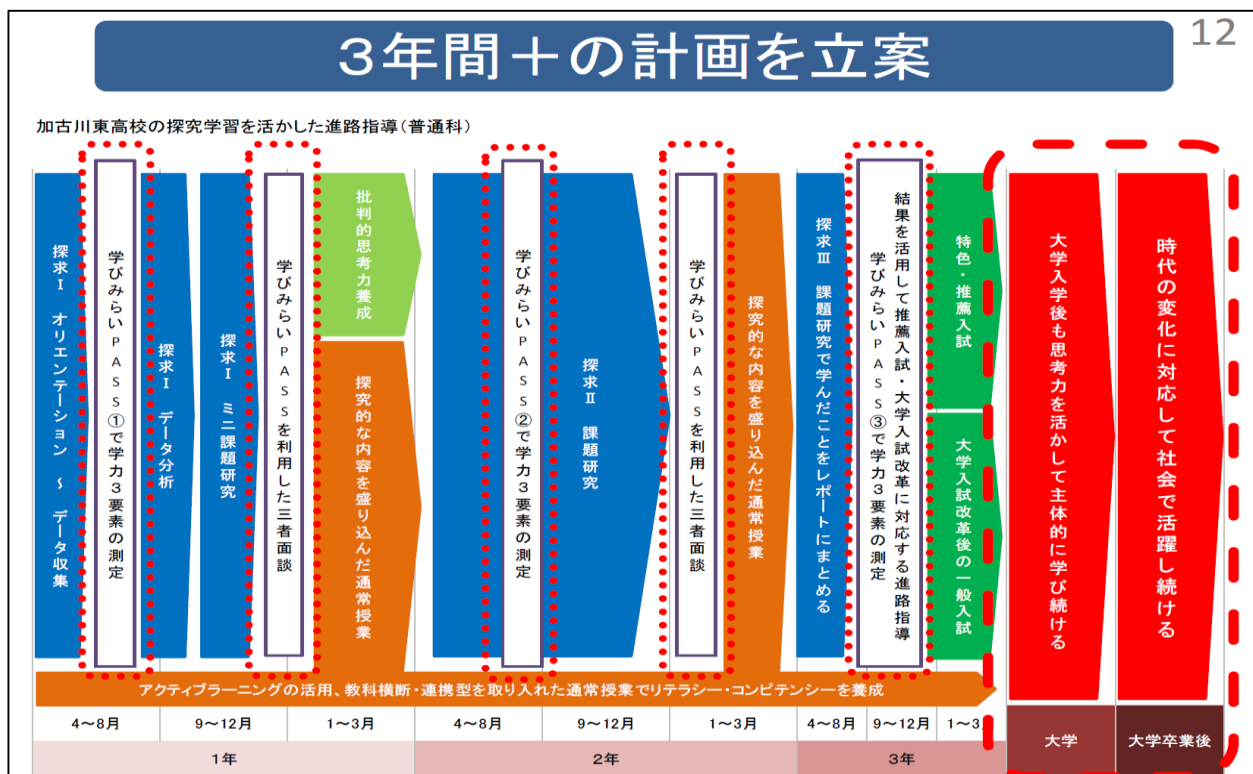


学校全体の教育活動の中で、どのように活用していくのが重要！

- ・ 3年間の学習計画にしっかり組み込んでこそ効果的な活用につながる。



※2018年度学びみらいPASS活用事例報告会 加古川東高等学校作成資料より抜粋

学びみらいPASSの受験結果から「注意しておきたい生徒」、 「極端な結果の生徒」などをピックアップし、面談資料としてまとめる。

- ・ 学校目標として大学進学後も思考力を活かして主体的に学ぶ生徒を育てたい。
- ・ しかし学力の3要素の育成だけでは全教員の理解を得るのは難しい。
- ・ そこで進路指導・生徒指導にも有用な資料とすることでより多くの教員に理解してもらう。

●注目する生徒例

- ・ 教科学力とリテラシーは高いが、コンピテンシーは低い
- ・ 交友充実タイプ
(友人関係が良好だが、学習には本腰を入れていない)
- ・ 目標必要タイプ
(キャリア意識が低く、目標が定まっていない)

一見問題なく見えるので指導が後回しになりがちだが、
3年時に勉強を始めても志望校に届かない可能性あり

LEADS (学習生活パターン) の結果で

- ・ 「相談できる友達がない」 かつ 「自尊感情が低い」

学びみらいPASSを受験した高1の7月時点で
人間関係に悩んでいる可能性あり

●タイプごとに生徒をリスト化し、面談資料として活用

冬休みの面談資料を作成

20

氏名	教科	リテ	コンピ	リテ総合	コンピ総合	志向性	友人関係	自尊感情	キャリア	興味関心			
① 健びるいっぱい！まだまだこれから	△	△	△	0	0	3	2	単独傾向	2	1	1	3	
② 部活動に命をかける！お祭り大好き	△	△	○	0	0	1	3	3	交友充実	3	2	1	3
	0	0	1	3	4	勤勉	1	2	1	3			
	0	0	1	3	3	交友充実	3	1	2	3			
	0	0	1	3	3	進学準備中	2	2	2	1			
	0	0	1	4	4	勤勉	2	1	2	3			
③ こだわり没頭タイプ	△	○	△	0	1	0	6	単独傾向	1	1	2	2	
④ 部活動のキャプテンタイプ	△	○	○	0	1	1	5	3	交友充実	3	1	2	1
	0	1	1	5	3	交友充実	3	3	1	1			

リテラシー、コンピテンシー等が
著しく高い／低い生徒をピックアップ
する資料を作成

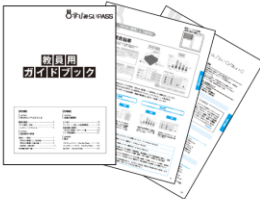
独自の面談マニュアルを作成し、指導に活用。数値データを元にする事で生徒指導の説得力が増し、保護者の満足度・信頼感も高まった。

- ・「本校にとって大切なもの」を抜粋し、一目でわかる面談マニュアルを作成
- ・生徒へ具体的な数値を示すことで、探究活動等を通じて身につける力のイメージがさせやすくなる
- ・保護者とともに結果を振り返ることで、コミュニケーションツールとしても活用

- 「教員用ガイドブック」を簡略化し、学校の実態に即した面談マニュアルを作成

- 面談で得られた成果

冬休みの面談マニュアルを作成 21



◎ 宇〇 リム コム 「情報大好き・作業派タイプ」

- ・正解があるものは得意だが、応用や融通が利かないことも
- ・定期テストのための詰め込み型の勉強から、もっと視野を広げた勉強につなげられるよう指導
- ・生徒用資料の結果から物科学習以外の良いところを取り上げて、思い当たる場面をたずねる

◎ 宇〇 リム コロ 「得意な得意生タイプ」

- ・先生や保護者のアドバイスに素直に従う優秀生だが、指導待ちになりがちな側面もある
- ・リーダーシップを高めるためにも、自分で状況判断したうえで経験を蓄積させたい
- ・周りのサポートだけでなく、探究学習など自立分「状況判断」したうえで経験をしてみたいことを説明

◎ 宇〇 リム コム 「研究・スペシャリストタイプ」

- ・成績も考える力もあるが、こだわりが強く一気変わった存在で、鼓勵活動や仕立てから苦勞する可能性
- ・納得感を持たせることが重要なタイプで、生徒が納得するまでじっくり話すことが大切
- ・生徒会、クラス委員などを勧めて、周りに目を向け新たな成長をさせることを促す

◎ 宇〇 リム コロ 「夢に向かって邁進、キラキラ優秀生タイプ」

- ・特に手のかからない優秀な生徒のため、指導が楽になりがち
- ・興味関心が広まっていることも多いが、それゆえに得意な得意な時に適応できなくなる恐れも
- ・興味関心を広げるためにも、新しい体験を促し、チャレンジした結果の適度な失敗体験も大切
- ・来年度の課題研究を主導する姿勢をとれば、リテラシー、コンピテンシーを伸ばす新たなチャレンジになる

※特に本校に多い①～③タイプの生徒を課題にせず、より高いレベルに導くことを目標とする

教員用ガイドブックの内容を本校用に取捨選択した面談マニュアルを作成

河合塾作成のマニュアルはよくできているが、担任が熟読するには分量が多い
→最低限伝えてもらいたい内容を、本校に必要なものは何か？をもとに考える必要がある

数値データを元にした指導により、説得力が増した

(例) 能力は高いがコツコツ学習できない生徒に対して

これまでは・・・
 「やればもっとできるはず。頑張ろう。」
学びみらいPASSを利用した結果・・・
 「リテラシー総合は5でとても高いね。でも、コンピテンシーの行動持続力が2、実践力が1と低いのもったいないね。ここを意識すればもっと学力も伸びるはず。クラス委員に立候補するとか、新しいことにチャレンジしてみてもどう？」

保護者の満足度、信頼感が高まった

入試改革に不安を感じる保護者に対して

生徒のリテラシーやコンピテンシーについての数値データを提示
 (保護者もほぼ同意する)
 ⇒面談マニュアルを元に、どうしても足りない部分を学校生活の中で伸ばせるかを説明
 (例) リテラシーが低い生徒に、探究学習への取り組みを勧める